



東洋公衆衛生学院 同窓会 会報 第18号

〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail alumni@toyophc.com

コンテンツ

1. 同窓会 会長挨拶
2. 令和6年度卒業式 挙行
3. 令和6年度謝恩会 開催
4. 国家試験の結果報告
5. 令和6年度同窓会総会 開催
6. 令和7年度入学式 挙行
7. 卒業生からの寄稿文
8. 学校の増築について

同窓会 会長挨拶

現在、我が国の社会保険制度は大きな岐路に立たされており、その影響は医療現場にも広がって、多くの医療機関で運営に関する問題が出てきています。

医療で利益を出すことに関して、日本では好意的に受け取られない傾向にあることもこうした問題の一つのポイントであると思われます。

医療機関も事業体であり、運営に係る経費分以上の収益を上げられないと事業の継続は危うくなってしまいますが、医療収入の基礎となる保険点数は国によって一律に決められていますので、他のサービス業と違って勝手に報酬を上げて利益を得ることはできません。

財政的に厳しさの増す医療現場で求められているのは、よりの確で効率的な仕事が行えるとともに、病を抱えた方達に適切な対応ができる人材です。

なかなかスーパーな人材が求められていますが、社会人になると自身のスキルを伸ばすことは難しくなってしまうのが事実です。

同窓会としては当学院の卒業生がスキルアップするための手助けができないかと長年協議を進めております。

その実行のためにはより多くの方の協力を得ることが必要です。

身近な同窓生とのつながりから会組織を広げていき、同窓会事業にご参加いただける方が増えてることを期待しています。

是非皆さんご協力のほどお願いいたします。

令和6年度 卒業式 挙行

令和7年3月5日(水)臨床検査技術学科第57期生35名、診療放射線技術学科第43期生53名の卒業式が新宿のハイアットリージェンシー東京にて挙行されました。コロナ渦以来、保護者の方々のご出席はご遠慮いただいていたましたが、今年度は大勢の保護者の方々

と共に晴れの舞台を祝うことができました。一人一人の凛々しくなった姿を眺めながら、皆で国家試験合格に向け頑張っていた姿を思い出して、今後もさまざまな医療現場で活躍して欲しいと願っていました。



令和6年度 謝恩会 開催

令和7年3月5日(水)、卒業式後、新宿のハイアットリージェンシー東京にて開催されました。謝恩会という形では今年度が最後の開催となります。卒業試験や国家試験を控えたとても忙しい中、レクリエーション等を考えた卒業生たちは、先生方や友人たちと食事を共にしながら会話が弾んでいた姿が印象的でした。



国家試験の結果報告

令和7年2月19日(水)に臨床検査技術学科、翌日の2月20日(木)に診療放射線技術学科の精鋭達が、国家試験に臨みました。臨床検査技師国家試験は第71回、診療放射線技師国家試験は第77回の施行で、共に大正大学が会場となりました。

臨床検査技術学科は受験者全員欠席もなく無事に国家試験を受験することができました。昨年度の学生より模擬試験平均が10点ほど低いスタートの学生たちでしたので、例年よりも叱咤激励をする日々が多くなり、また一人一人の性格を見極め指導していくことが続きました。毎日毎日朝早くから遅くまで勉強に励み、今まで経験したことがないくらいの時間を勉強に費やし、自分自身の可能性のみを信じて戦う日々でした。

診療放射線技術学科も無事に全員が受験できました。毎日遅くまで残って勉強する姿は後輩たちの良い見本となってくれました。集中勉

強会（通称パチパチ）では、昨年の卒業生がお菓子の差し入れを持ってきてくれたこともあり、勉強とご褒美の良いバランスを保って乗り切ることができました。今年は出題にも恵まれ、奇問難問がなかったことも幸いでした。

合格発表は両科とも令和7年3月21日(金)にあり、受験者全員合格の栄誉を掴むことができました。この頑張りは東洋公衆衛生学院で得た最大の成功体験です。“やればできる!”を糧に有資格者として羽ばたいていってほしいと思っています。

諸先輩方にはご指導の程よろしくお願い致します。



臨床検査技術学科

本学:35人中35人合格 合格率100%

全国:5,468人中5,131人合格 合格率84.6%

診療放射線技術学科

本学:53人中53人合格 合格率100%

全国:3,729人中3,159人合格 合格率84.7%

令和6年度 同窓会総会 開催

令和7年3月29日(土)16:30~17:15 東洋公衆衛生学院
臨床検査技術学科校舎にて開催されました。

- 一. 令和6年度経過報告
- 一. 令和6年度会計および会計監査報告
- 一. 第1号議案 令和7年度事業方針(案)
- 一. 第2号議案 令和7年度予算(案)
- 一. 第3号議案 令和7年度役員について
- 一. その他

等が報告および協議されました。

昨年役員会がオンライン併用になったことと役員改選の年だったこともあり、新役員候補を募集しておりました。組織図にも変更があり、新体制で次年度以降に臨む旨の報告もありました。

また、総会後には懇親会も開催され、親睦を深める良い機会になりました。懇親会から参加される卒業生も多くいらっしゃいます。年度末のお忙しい時期ではありますが、お集まりいただけますと嬉しいです。

令和7年度 入学式 挙行

令和7年4月2日(水)、渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにて入学式が挙行されました。

臨床検査技術学科第60期生・診療放射線技術学科第46期生一人ひとりの名前を呼び上げられ、入学が許可されました。

保護者の方々と一緒に会場に来られた、まだまだ高校生のあどけなさが残っている学生や、真新しいしつけのついたリクルートスーツを着た微笑ましい姿も見られましたが、今後医療職を目指す一人としての決意も新たにされたのではないのでしょうか。ぜひ頑張っていって欲しいと思っています。

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールは大きくて綺麗な会場です。ここ数年は学院祭もこちらで開催しております。同窓生の皆様もぜひ学院祭に遊びにいらしてください。



同窓生からの寄稿文

➤ 『東洋公衆衛生学院と私』と題して卒業生からの寄稿。

臨床検査技術学科 第50期卒 望月美沙

学生時代は、アルバイトや遊びに夢中で、勉強にはほとんど力を入れていませんでした。そのツケが回ってきたのが、国家試験の勉強のとき。準備が大変で、先生たちに見張られながら、学校に缶詰状態で勉強した日々を今でも鮮明に覚えています。友達ともお互いの得意科目を教え合い、励まし合いながら、今までの遅れを取り戻すべく必死に頑張りました。あの時ほど全力で勉強したことはなかったかもしれません。

そんな私も、今では研究所に勤め、病理の仕事に携わっています。まさか病院ではなく研究職へ進むとは思いませんでしたが、専門学校で学んだ知識や経験が今の仕事に活かされていることを日々実感しています。

病理講師の先生方から、「病理の学会に参加してみたら？」と勧められたことがきっかけで、その場でご縁をいただき、現在の職場で働くことになりました。思いがけない出会いとチャンスが、人生の進路を大きく変えたことを実感しています。改めて、背中を押してくださった先生方には心から感謝しています。

卒業後も仲間との交流は続いており、先日久しぶりに集まる機会がありました。昔と変わらない関係に、学生時代に築いた縁の大切さを改めて感じました。社会に出てからも支え合える存在がいることは、心強いものですね。同窓生の皆様とのつながりを大切にしながら、それぞれの道で成長していければと思います。

診療放射線技術学科 第 34 期卒 三谷 理奈

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私たち 34 期生が東洋公衆衛生学院で学んでいたのは、今から 10 年ほど前、2016 年 3 月に卒業いたしました。当時の学生生活を振り返ると、決して楽なことばかりではありませんでしたが、今となってはかけがえのない思い出ばかりです。特に印象に残っているのは、定期試験やレポートの提出に向けて、仲間と互いに励まし合いながら夜遅くまで勉強した日々です。眠気と戦いながら過ごした時間は、まさに青春そのものでした。そうした苦しい経験を共に乗り越えたことで、私たちは深い絆で結ばれ、卒業後も変わらず支え合える関係が続いています。

私は卒業後、神奈川県小平市の平塚市民病院に勤務することになりました。この病院に入職するきっかけとなったのは、学院の先輩がすでに勤務されており、その方からお話をいただいたことが大きな後押しとなりました。同期が同じ職場にいなかった私にとって、その先輩の存在や、在学中の仲間とのつながりは非常に心強いものでした。技術的なことや日々の業務についても、気軽に相談できる仲間がいるというのは本当にありがたいことです。

現在、平塚市民病院では私を含めて 6 名の東洋公衆衛生学院出身者が在籍しており、それぞれが診療放射線技師として現場の第一線で活躍しています。また、当院は東洋公衆衛生学院の臨床実習受け入れ施設にもなっており、毎年学生の皆さんが実習に來ています。先輩から受け継いだご縁を、今度は私たちが後輩たちへつなげていけるよう、指導やサポートにも力を入れています。こうして学院の卒業生が増えていくことで、自然と職場内での東洋公衆衛生学院の認知度も高まり、私たちにとっても後輩たちにとっても働きやすい環境が整いつつあるように感じています。

近年では 4 年制大学の技師養成校も増え、東洋公衆衛生学院にとっては厳しい環境が続いていますが、それでも私たち卒業生が各地で誇りを持って働く姿を見せることが、学院の評価や信頼の積み重ねにつながっていくと信じています。これからも同窓の仲間と連携しながら、現役生や若手技師たちにとってより良い環境を築いていければと思っています。

最後になりますが、同窓会の皆さまの今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

学校の増築について

現在、本校敷地内に 3 棟目の校舎を建築しております。来年、令和 8 年の 10 月に完成する予定です。既存の校舎はそのまま残りますので、校舎 3 棟体制で学生を受け入れることとなります。

新校舎には両科の実習室を始め、80 人以上が入る教室、自習スペースを併設した図書館などができる予定です。

同窓生の皆様には馴染みのない建物ができることとなりますが、完成した際にはぜひご覧いただきたく思います。診療放射線技術学科としては、念願の天吊り管球が導入されます。



工事進捗状況(2025年3月末)



編集後記

前回、イベントでの写真を撮ってなかったことを激しく後悔しました。今回は積極的に写真を撮ったつもりでしたが、ホスト側である我々教職員が卒業式や入学式のセレモニー中に写真を残しておくことの難しさを実感しております。特に 1 年生の担任をしておりますと、入学式では身動きが取れませんでした。

さて、ワタクシ、会報誌に携わるようになって初めて Microsoft Word を使うようになりました。なんでも Excel と PowerPoint で済ませてしまうスタイルでしたので、全然 Word が使いこなせなくて……いまでも四苦八苦しながら編集しております。

回を重ねるごとに自分の課題が見つかっていくものですが、今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

編集委員長 田中宏和

同窓生からの原稿を募集します！

同窓会会報を同窓生のコミュニティの場にしませんか？

卒業生の活躍を掲載したいと思います。広く原稿を募集していますので、下記メールアドレスまで投稿して下さい。

facebook でも情報発信中

ホームページ @toyoCollegeAlumni

東洋公衆衛生学院 同窓会事務局

151-0071

東京都渋谷区本町 6-21-7

電話番号：03-3376-8511

FAX 番号：03-3376-4345

メールアドレス: alumni@toyophc.com

